

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">美術鑑賞法</p>	<p>対象学科・学年</p> <p style="text-align: center;">文学部日文1回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">江村 公</p>
<p>授業テーマ</p> <p style="text-align: center;">美術館に足を運んで作品を見る——現代アート入門</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>現在よくいわれているグローバリズムという観点から、社会における芸術の位置がどのように変化してきたのかについて理解を深めることが、この授業の目的である。主に西洋美術の作品の紹介が中心となるが、近年のアート・フェスティバルに見られるような展示の変化についても着目したい。また、日本における現代アートの状況についても考える。例年、課外授業で美術館見学も行っているため、希望者は参加してもらいたい（昨年度は京都市立美術館を見学した）。</p>		
<p>評価方法</p> <p style="text-align: center;">出席点50%、学期末レポート50%で評価</p>		
<p>テキスト</p> <p style="text-align: center;">特になし</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>参考書</p> <p style="text-align: center;">授業中に指示する</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに——美術館の起源</li> <li>2. ニューヨーク近代美術館について</li> <li>3. 歴史画とリアリズム</li> <li>4. 印象派の絵画に見る当時の社会</li> <li>5. 印象派における風景画</li> <li>6. キュビズム</li> <li>7. 抽象絵画の誕生</li> <li>8. 生活の中のアート——デザイン</li> <li>9. 戦争と芸術</li> <li>10. 戦後のアメリカのアート</li> <li>11. 消費社会とアート</li> <li>12. 環境とアート</li> <li>13. 芸術家のアイデンティティの問題</li> <li>14. 美術館見学</li> <li>15. まとめ——現代アートと日本の現状</li> </ol>		